

伊豆東部火山群

○概況（平成 18 年 5 月）

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○地震及び微動の発生状況（図 1～4）

今期間、地震活動は低調に推移しました（図 1、図 2）。

前期間の 4 月 17 日から 4 月 24 日にかけて、伊東市川奈崎の東沖合を震源とする微小な地震がやや増加し、東伊豆町に設置している体積歪（ひずみ）計¹⁾ や伊東市に設置されている防災科学技術研究所の傾斜計²⁾ にわずかな変化が観測されました。

この地震活動は 4 月 24 日以降低調となり、5 月に入ってから 4 日、12 日、24 日に震度 1 を観測する地震が発生しましたが、活動は次第に低下していきました（図 3）。体積歪計や傾斜計では特段の変化は観測されませんでした。また、噴火に結びつくような低周波地震及び火山性微動は観測されていません。

この地域では過去にもしばしば同様な地震活動がみられています。

- 1) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを観測する機器。
- 2) 膨張や収縮による地面の傾きを観測する機器。

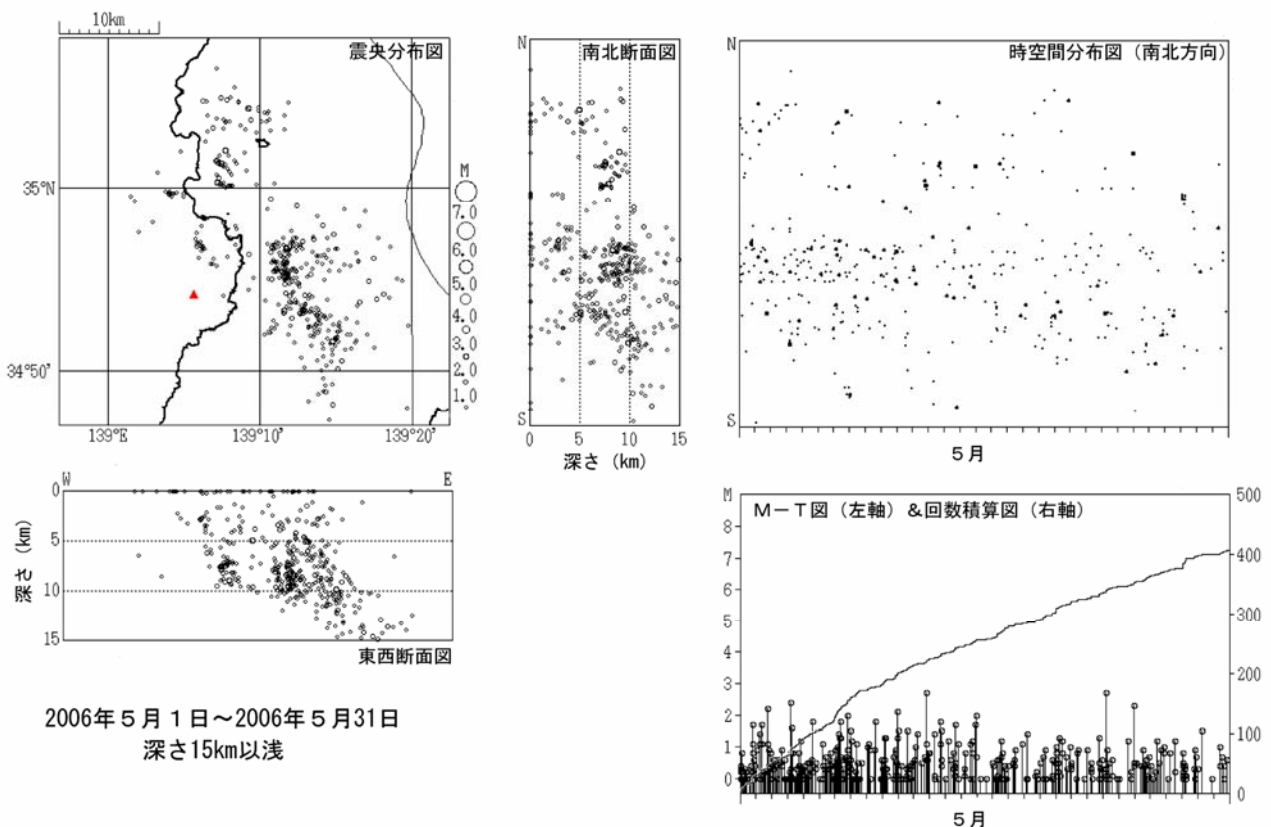


図 1 ※ 伊豆東部火山群 5 月の地震活動経過（2006 年 5 月 1 日～5 月 31 日、M は暫定値）

※この資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

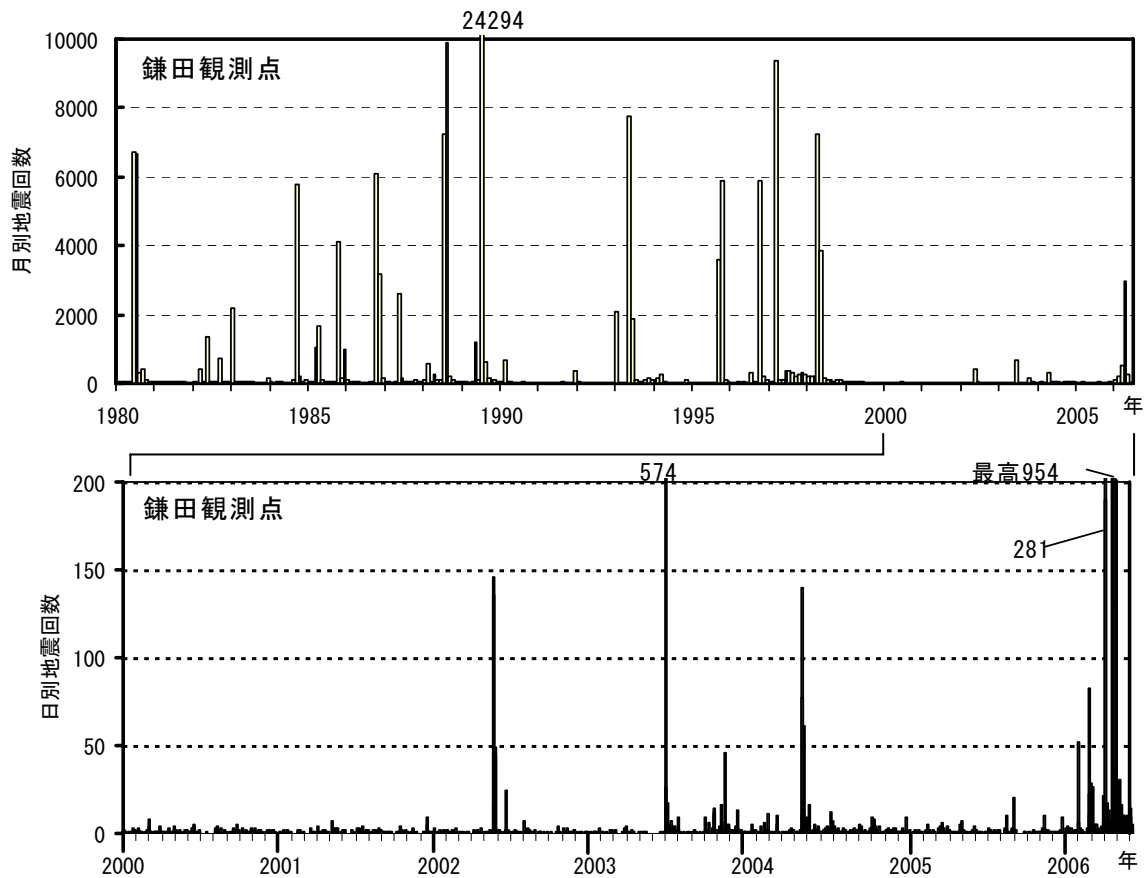


図 2※ 伊豆東部火山群 鎌田地震観測点（図 6 右図）で観測した地震回数

上段：月別地震回数（1980 年 1 月～2006 年 4 月）

下段：日別地震回数（2000 年 1 月～2006 年 4 月）

地震回数は、鎌田観測点の S-P 時間が 6 秒以下で上下動速度振幅が一定振幅以上の地震の数を表す。

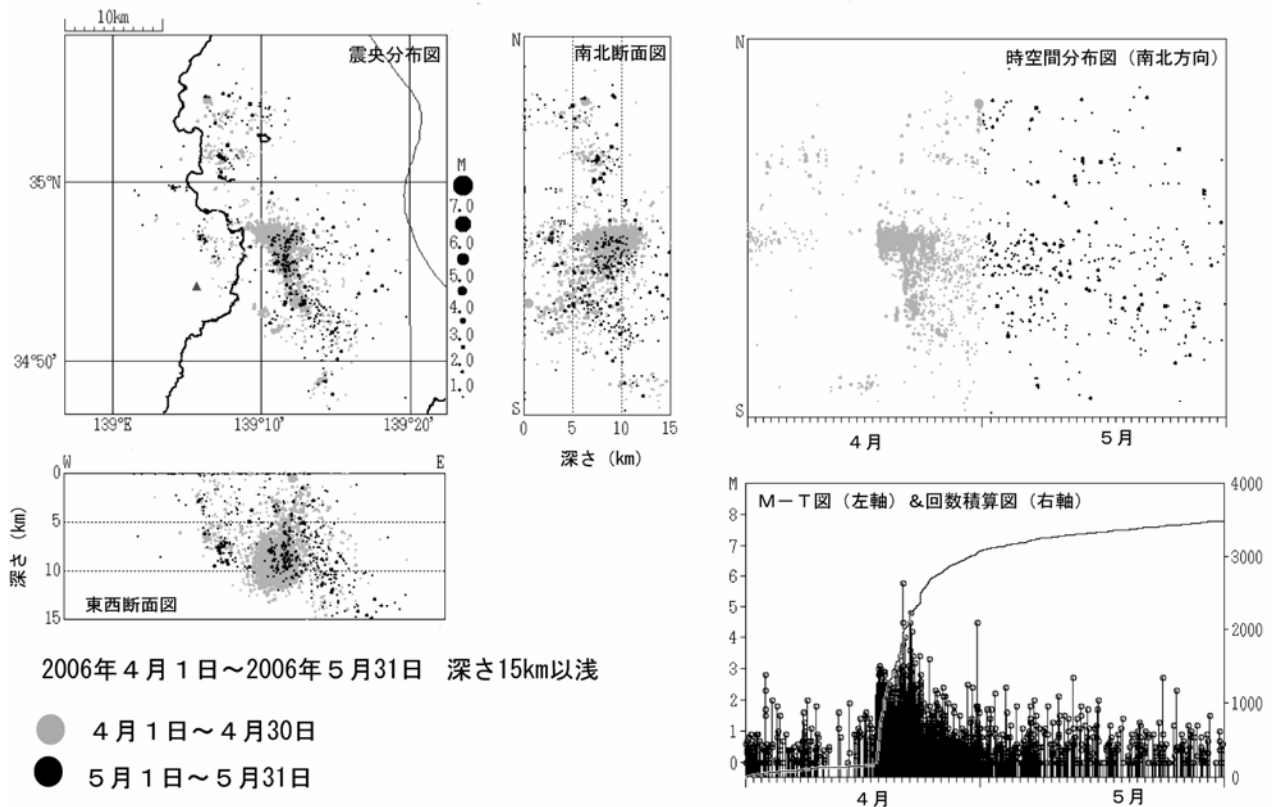


図 3※ 伊豆東部火山群 4 月～5 月の地震活動経過（2006 年 4 月 1 日～5 月 31 日、M は暫定値）

○GPS連続観測による地殻変動の状況

気象庁のGPS連続観測では、火山活動によると考えられる変動は認められませんでした（図5）。

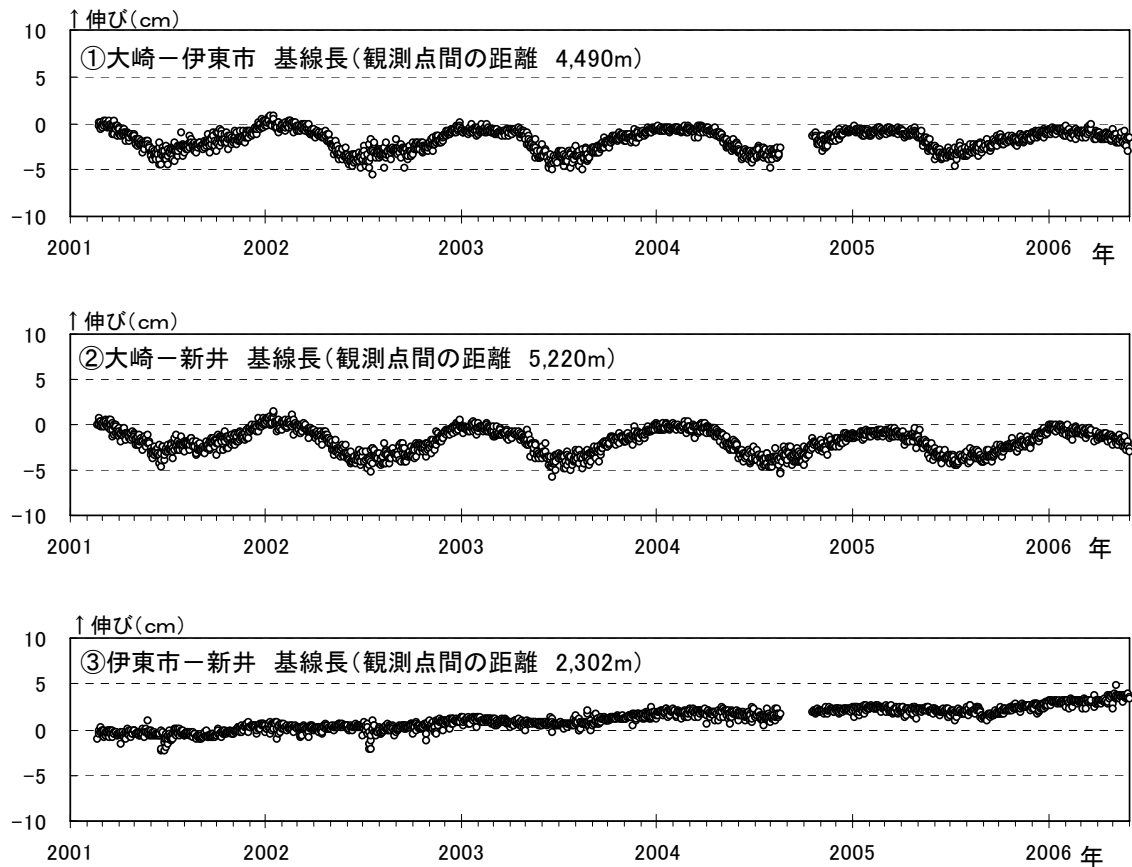


図5 伊豆東部火山群 GPS連続観測による基線長変化（2001年2月～2006年5月）

基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。

（①～③は図6のGPS基線①～③に対応しています）

○噴煙の状況

伊東市役所に設置している遠望カメラでは、噴煙は観測されませんでした。

○観測点情報

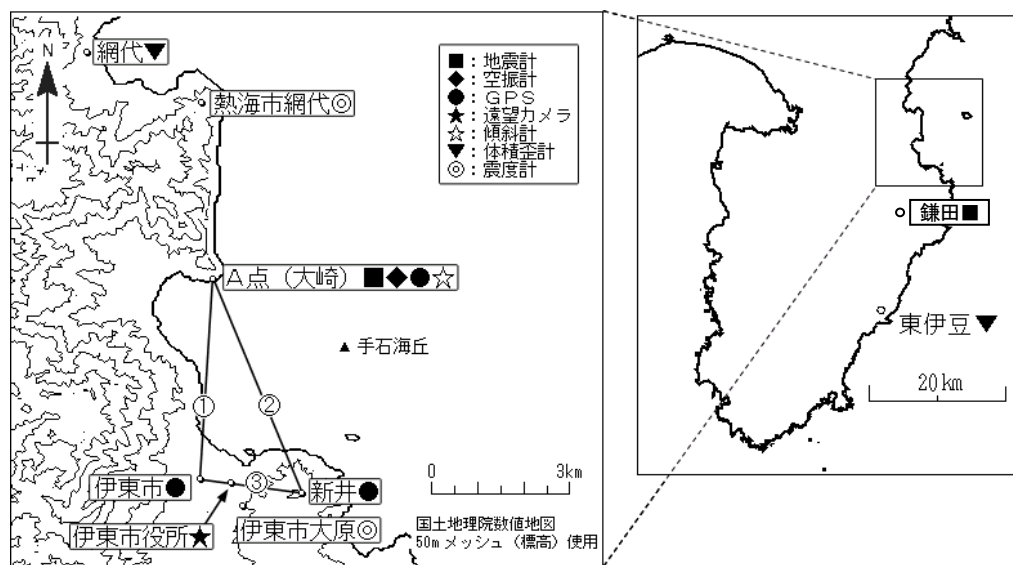


図6 伊豆東部火山群 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）